

台風26号における^{すりかみがわ}摺上川ダムの効果について (速報)

10月16日に通過した台風26号による降雨で、摺上川ダムにおいて防災操作を行い、約320万m³の水を貯め込み、下流河川の増水軽減に効果を発揮しました。

◎摺上川ダムの気象状況

台風26号の通過に伴い摺上川ダム流域に合計131mmの雨が降りました。
1時間当り最大降雨量は、約18mmでした。

◎防災操作の効果

- 摺上川ダムに最も多くの水が流れ込んだ毎秒212立方メートルのうち、毎秒203立方メートルをダムに貯め込みました。
(毎秒9立方メートルがダム流下量であり、発電・上水道の使用水量です。)
- 今回の洪水における防災操作では、約320万立方メートル(東京ドーム2.6個分)の水を貯留し、下流河川での洪水発生による被害の軽減を図りました。
- ダム下流の西根下堰地点(飯坂温泉付近)において、約0.4mの水位上昇が抑制されたと推察されます。

※ダムがなければ毎秒212立方メートルがそのまま下流へ流れていた事になり、摺上川や阿武隈川(瀬ノ上から下流)の水位が更に上昇していたと推察されます。

〈 問い合わせ先 〉

国土交通省 東北地方整備局 摺上川ダム管理所

所 長 柴田 松雄

管理係長 遠藤 盛茂

TEL 024-596-1275 (代)

FAX 024-596-1274

阿武隈川水系 摺上川ダムの効果（平成25年10月16日 台風26号）

- 台風26号の通過に伴い摺上川ダム流域に、1時間雨量が最大で約18mmとなるなど、合計131mmの雨が降り、ダムへの最大流入量は212m³/sを記録しました。
- 今回の洪水における防災操作では、約320万m³（東京ドーム2.6個分）の水を貯留し、下流河川の増水軽減を図りました。
- ダム下流の西根下堰地点（福島市飯坂町付近）では、約0.4mの水位を低減させる効果があったものと推測されます。

摺上川 西根下堰地点の水位
 ダム整備前：1.0m
 ダム整備後：0.6m
 →約0.4mの水位低減

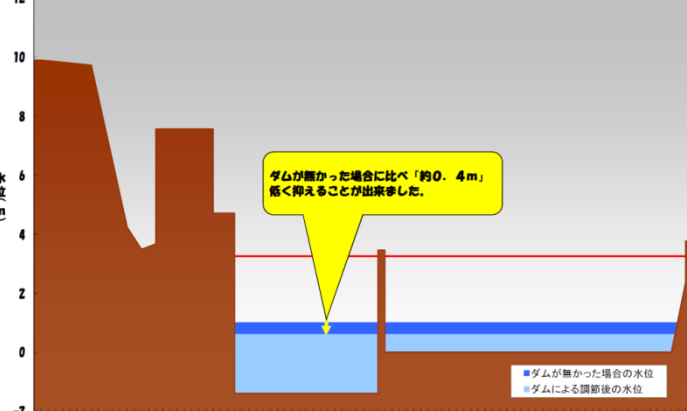
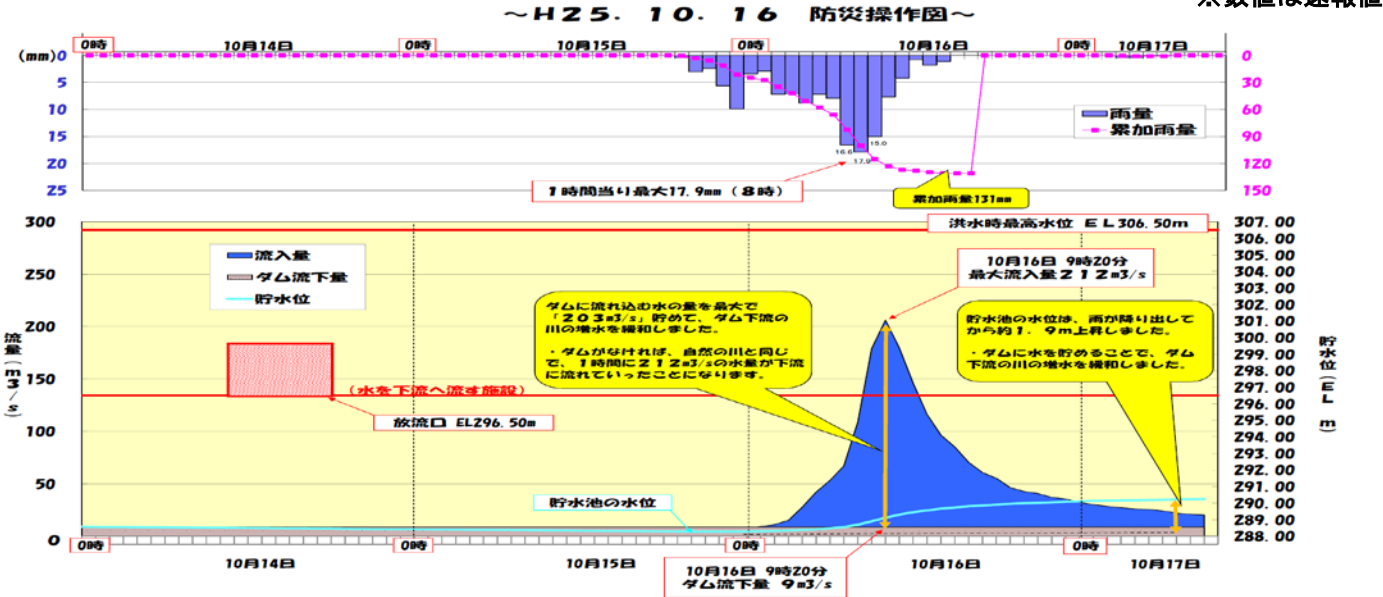


摺上川ダムの状況【10/17 9:10 EL290.24m】



降雨開始から貯水池の水位が約1.9m上昇しました。

※数値は速報値



西根下堰 ダムによる洪水調節効果

西根下堰の状況【10/16 9:08 水位0.56m】



摺上川 下流 西根下堰観測所

【摺上川ダム参考資料】

台風26号による洪水での防災操作(概略図)

摺上川ダムの状況[H25.10.17 9:50]



放水口から水が出ていくためには
約6mの余裕があった。

- ※降雨開始から貯水位は約1.9mの上昇。
- ※降雨開始から貯めた水量は約6,300,000m³。
(東京ドーム約5.1個分)

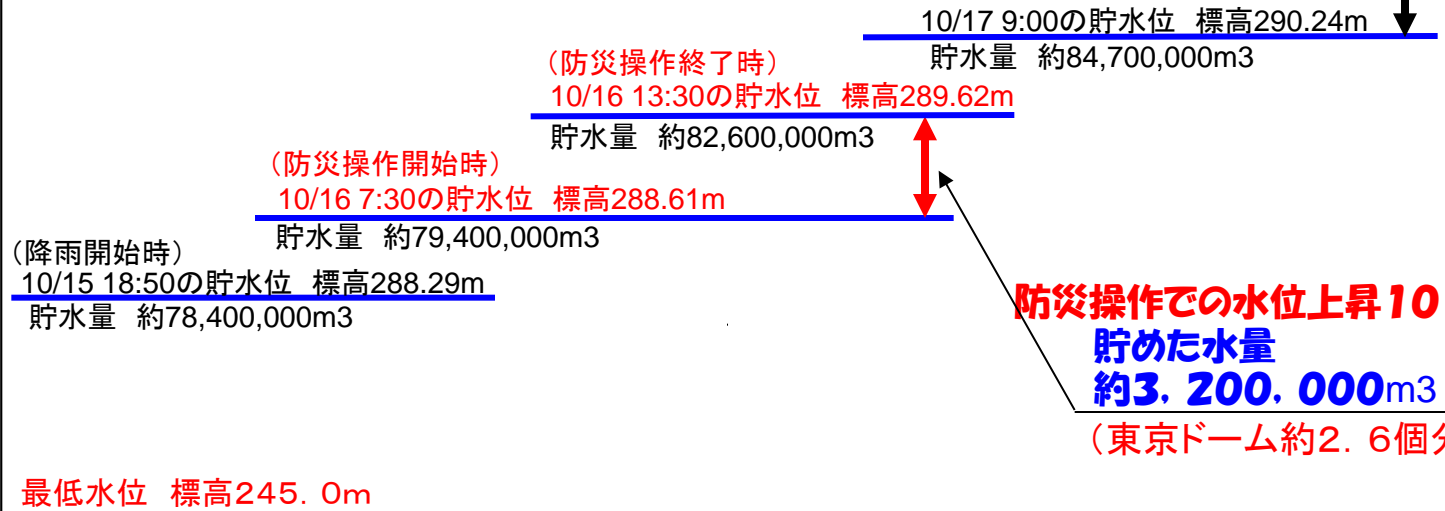
標高311.5m

非常用洪水吐標高306.5m

放水口 標高296.5m

フィル堤体

洪水吐



防災操作での水位上昇101cm
貯めた水量
約3,200,000m³
(東京ドーム約2.6個分)

※「防災操作」:ダムに流れ込む洪水を貯めて、ダム下流での川の増水を緩和すること
※東京ドームの容積は124万m³